



2022年8月31日

株式会社 阿波銀行

有限会社なんとうの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社なんとう（取締役 楠藤 哲哉、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|---------------------|
| 企業名 | 有限会社なんとう |
| 所在地 | 徳島県徳島市鮎喰町一丁目 112 番地 |
| 代表者 | 楠藤 哲哉 |
| 業種 | 衣料品小売業 |
| 設立 | 1994年1月14日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年8月31日



有限会社なんとう 取締役 楠藤 哲哉

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール | |
|-------|-----------------|---|--|----------|--|
| 環境・経済 | 環境配慮型サービス・製品の提供 | 持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。 | ① (1)廃棄・不要製品を回収加工し再利用 (2)製品・サービスの環境に配慮した企画・開発・販売基準の設定 | | |
| | | | ② (1)2025年度までに販売済商品のうち卒業等で使用しない制服体操服を10%以上回収 (2)2025年度までに取扱学校にLGBTQ等に配慮した安心できる提案を100%実施 | | |
| 社会・経済 | コンプライアンス | 会社の信用とステークホルダーの利益を守るため、強固なコンプライアンス体制の構築と意識の醸成を図ります。 | ① (1)コンプライアンスマニュアルを作成・周知 (2)コンプライアンスに関する研修の実施 | | |
| | | | ② (1)2025年度までに業務に関わる法令を含むコンプライアンスマニュアルを作成、従業員に配布 (2)SDGS関連、コンプライアンスに関する研修を毎年1回実施 | | |
| 社会・経済 | 教育への貢献 | 自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。 | ① (1)職業体験や出張授業の企画・実施 (2)地域のスポーツ振興、イベントへの参加・協賛 | | |
| | | | ② (1)地域の小中学校の就業体験授業に毎年1回協力 (2)毎年1回地域のイベント開催の参加・協力 上記の取組みを随時WEB掲載 | | |
| 社会 | ワークライフバランス | 社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。 | ① (1)産前産後・育児・介護休暇制度の整備 (2)各種休暇を取得しやすい風土づくり | | |
| | | | ② (1)2024年度までに、各種休暇に対応する勤務制度の社内ルールを作成 (2)年齢制限を設けていないパート勤労者の雇用を年間2名維持 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上